

小樽市立奥沢小学校 学力向上改善プラン

1 実施期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

2 児童の実態

一昨年の全国学力学習状況調査の結果は、国語・算数ともに全国平均を上回った。昨年度は、中止となったが、学校独自で取り組み、自校採点した結果、国語で4ポイント、算数で13ポイント一昨年度の結果を下回った。特に国語科では条件に合わせて書くこと、算数科では式や言葉を使って筋道を立てて説明することになどに課題がみられた。質問紙や児童アンケートでは自分には良いところがあると答えた児童の割合が低かった。今年度は、「承認・賞賛・励まし」を意図的に行うことや「目標を明確にした日常の授業」「児童自らが進んで考えたり、表現したりする授業」等の共通実践を通して子ども達の学力向上を目指す。

3 学年ごとの定着目標（数値目標）

<国語科>

| 学年 | 定着目標 |
|----|---|
| 1年 | ・ひらがな100%、カタカナ90%以上 漢字90%以上 教科書をすらすら読めるようにする。90%以上 |
| 2年 | ・配当漢字を読んだり、書いたりする。80%以上 ・教科書をすらすら読めるようにする。90%以上 |
| 3年 | |
| 4年 | |
| 5年 | |
| 6年 | |

<算数科>

| 学年 | 定着目標 |
|----|---|
| 1年 | ・繰り上がり繰り下がり足し算・引き算 90%以上 |
| 2年 | ・かけ算の意味理解（1あたりの重視）と九九の定着90%以上 |
| 3年 | ・割り算の意味理解と定着・コンパス操作の習得 80%以上 |
| 4年 | ・小数の四則計算の定着・わり算の筆算の習得・正方形、長方形の面積の求め方の習得・分度器操作の習得80%以上 |
| 5年 | ・分数の加減計算・割合に関する基本問題の習得、三角形・四角形の面積の求め方の習得 80%以上 |
| 6年 | ・分数の四則計算・立体の体積の求め方（基本問題）の習得80%以上 |

<学習・生活習慣（家庭学習等）>

| 学年 | 定着目標 |
|----|-----------------|
| 1年 | ・宿題提出を95%以上にする。 |
| 2年 | ・宿題提出を95%以上にする。 |
| 3年 | ・宿題提出を95%以上にする。 |
| 4年 | ・宿題提出を95%以上にする。 |
| 5年 | ・宿題提出を95%以上にする。 |
| 6年 | ・宿題提出を95%以上にする。 |

4 目標を達成するための具体的な方策

(1) 基礎学力の確実な定着を図る取組

- ①見通し（課題）、振り返りを位置づけた授業を進める。
- ②全校算数ドリルの活用や、チャレンジテストや確認テストの取組を進める。
- ③学習規律の確実な定着を目指した指導を進める。

(2) 確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

- ①IT、習熟度別少人数指導などを研修し、担当教諭との打ち合わせを日常化した取り組みを進める。

②公開研・研修等への参加を通して研鑽を深める。

(3) 家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

- ①家庭への啓発を随時行い、生活リズムチェックシートの活用やスマート7の徹底を図る。
- ②音読や読書習慣の定着に向けた取組を継続して行う。
- ③保護者会や学校だより等を活用し、スマホやゲーム、インターネット等の時間について約束が守られるように啓発する。

5 実施計画

| 年月日 | 計画内容 |
|-----|---|
| R3年 | |
| 4月 | ・学力向上改善プランの作成 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ○全国学力・学習状況調査の実施 ○全国学力・学習状況調査 自己採点 |
| 5月 | 放課後学習会 ○標準学力調査実施（第3学年・第5学年） |
| 6月 | ・全国学力・学習状況調査自己採点結果分析（校内学力向上検討委員会） ○標準学力調査結果分析 |
| 7月 | ・全国学力・学習状況調査自己採点結果・標準学力調査結果を踏まえ学力向上改善プランの見直し ・校内研究授業の実施 ・1学期「確認テスト」・チャレンジテストの実施 ・夏休み学習会の実施 |
| 8月 | ○全国学力・学習状況調査結果分析 |
| 9月 | ○保護者への調査結果の説明 ○学力向上改善プランの評価・改善 |
| 10月 | ・指導方法工夫改善にかかる研究授業の実践のまとめ |
| 11月 | ・2学期「確認テスト」チャレンジテストの実施 |
| 12月 | |
| R4年 | |
| 1月 | ・冬休み学習会の実施 ○新学力向上改善プランの作成 |
| 2月 | ・3学期「確認テスト」の実施 ・チャレンジテストの実施 |
| 3月 | ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施（春休み期間） |

6 評価方法

(1) 基礎学力の確実な定着を図る取組

- ①チャレンジテストや単元テスト、確認テスト等の結果分析
- ②全国調査問題や標準学力調査の結果分析
- ③校内研修による検証（学習規律、見通し、振り返り等）

(2) 確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

- ①自己評価や児童アンケートの結果分析
- ②研究協議等による検証・分析
- ③外部からの意見を参考にする

(3) 家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

- ①全国調査質問紙の結果分析
- ②自己評価・児童アンケート・保護者アンケートの結果分析